

まめまめ通信



さいわい
こども
クリニック

2025. Feb
Vol. 32 No. 2

ぼけっと病児保育室 登録会を行います！

ぼけっと病児保育室は病気やけがのために保育園や幼稚園、学校に通園・通学できないお子さんなどを一時的にお預かりする施設です。専門スタッフ(保育士・看護師)がお世話をし、お子さん達が安心して回復に向かえるようケアします。どのように過ごしているかは「病児保育室だより」をご覧ください！

来る 2/27(木)、3/13(木) に新規登録会を行います。登録は随時行っていますが、登録会ではスムーズにご案内・ご登録ができます。他、保育室に関して個別の相談もできますので是非ご利用ください。詳細はHP やチラシをご確認下さい。なお、更新の方は2月中に登録されているご住所に更新書類を送付いたします。(平野)



思い出のエール



外来保育士の コーナー

年長さんは卒園入学の準備が始まる頃ですね。子ども達はランドセルなどが届いたり、周りの人から「もうすぐ1年生だね」と声をかけられたりする機会が増えることで、小さいなりに新しい生活に向けて期待と不安を感じ、大人が思う以上にドキドキしている場合があります。声掛けをするときはプレッシャーに繋がる言葉はグッと堪えて、周りの大人が1年生だった頃の学校や学校以外の様々な思い出話で、そっと背中を押してあげられるといいですね。(Y)

書類の依頼について

そろそろ入園・入学、進級のシーズンですね。皆さまおめでとございます。

毎年1月から3月にかけては園や学校に提出する生活管理指導表や診断書などの書類のご依頼が多くなる時期です。

書類記載には2週間~1ヶ月ほどお時間をいただく場合がございます。余裕を持った受診、ご相談をおすすめしております。書類を持参された際は来院時に受付にお申し出ください。(もも)



医事の コーナー



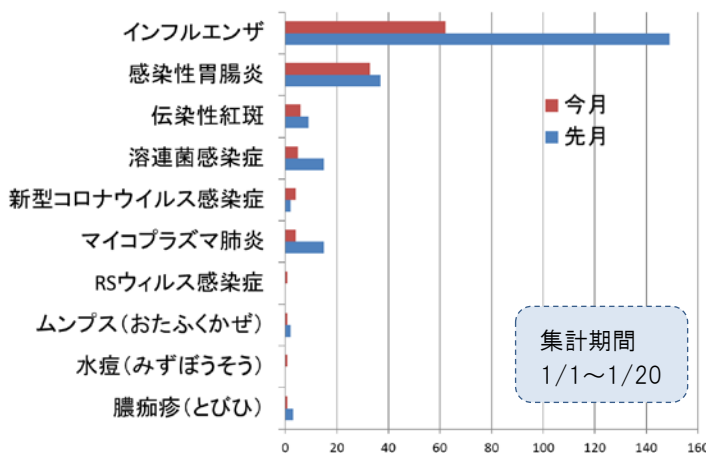
冬の夜空

冬の晴れた日には夜空に星がよく見えますね。1月はしぶんぎ座流星群の観察のチャンスや、火星の地球への最接近などもありました。最も寒い季節ですので観察するときにはしっかり防寒が必要ですが、市街地から遠く離れた高原で、満天の星を初めてみました。たくさん星が地球と同じようにこの空に存在していることを実感しました。私を守ってくれている家や町の向こうには広い宇宙が広がっていると思うと、とても不思議な気持ちになりますが、冬の静かな夜はそのようなイメージも自由に広がっていくようです。



森本 Dr の ひとりごと

感染症だより



伝染性紅斑(りんご病)が全国的に流行しています。両頬や手足に赤い発しんが現れます。発しんが現れたときには感染力はほぼ消えています。かゆみやほてりがあるときは保湿剤やかゆみ止め様子を見ます。(ヒ)

節分



サービスの コーナー

【2月の折り紙】

鬼の豆いれと 雪だるま

【おすすめ絵本】

「のろまな ローラー」

作:小出 正吾 絵:山本 忠敬

出版社:福音館書店



最新の診療予定

こちらの QR コードからご確認ください

* 12:30~13:30 はお電話による受付ができません。ご了承ください。



時間外電話相談のご案内

①母と子の健康相談室 *365 日対応 #8000

②クリニック代表電話 *木・日曜日を除く時間外 24 時迄
042-536-7280

専門のスタッフが時間外も相談をお受けします。音声ガイダンスが流れますので症状についてのご相談をお選びください。



保育室では、医師の指示により必要な処置を行います。
普段からいつも行っている主な処置についてご紹介します。



鼻吸い

鼻水が溜まっていると、飲み込みづらくて食事が進まなかったり、奥でからんで咳で苦しくなったりするので、食事の前やお昼寝の前など、様子をみながらこまめに鼻を吸ってあげています。一年を通して、最も多く行う処置です。

吸入



保湿

軟膏を塗る前に汗や汚れを落としてきれいにします。顔や手足は、濡らしたタオルでやさしく拭きます。おしりや全身の場合はシャワーを使うこともあります。



お膝の上に座って 歌を歌ったり、絵本を読んだり…と楽しみながら吸入できるようにしています。吸入をしたあとは鼻や喉が加湿されるので、そのあとすぐに鼻吸いします。

鼻水を何度も拭く必要があるときは、保湿剤を塗って保護しています。口の周りが荒れやすいお子さんは、食べる前に保湿剤を塗って汚れが直接付着するのを防ぎます。食事後に濡れタオルできれいに拭き取ります。



粉の薬を飲むとき

水分に溶かしてからしばらくすると、周りの甘い部分が溶けて、苦みが出てくる薬もあるので、スプーンの上で溶かしたらすぐに飲みます。



- ①スプーン上に少量の水を入れます。
- ②上から薬を加えて
- ③一口でパクっと飲みトロトロにします。切れるようにします。



ナースの
まめ^{x2}辞典

保湿をしましょう



寒い日が続く、空気が乾燥しているこの季節は、大人も子供も肌のケアが大切です。

お子さんの皮膚は大人に比べ薄く刺激に敏感です。皮脂や保湿成分も少なく乾燥しやすいので、保湿は十分にしてください。入浴後に暖かいお部屋で顔や手など洋服から出ている部分はもちろん、からだ全体もクリームやワセリンなど、お子さんに合うもので保湿をしてください。2週間ぐらい保湿を続けても乾燥が気になる・痒みがありそうなど気になる時は、クリニックにご相談ください。

お子さんを保湿ケアしながら お父さん・お母さんの手もすべすべになりますように♪ (A.A)